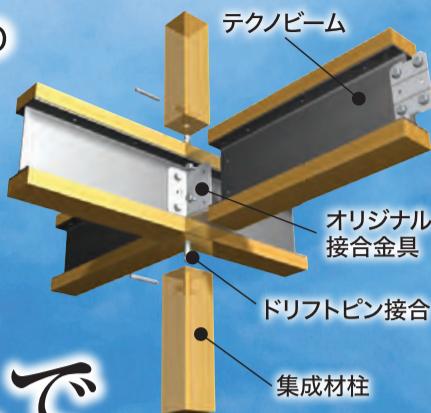


木+鉄で 建てる第三の工法。

木の優しさと鉄の強さの
ハイブリット工法

強さがあるから
理想をカタチにできる



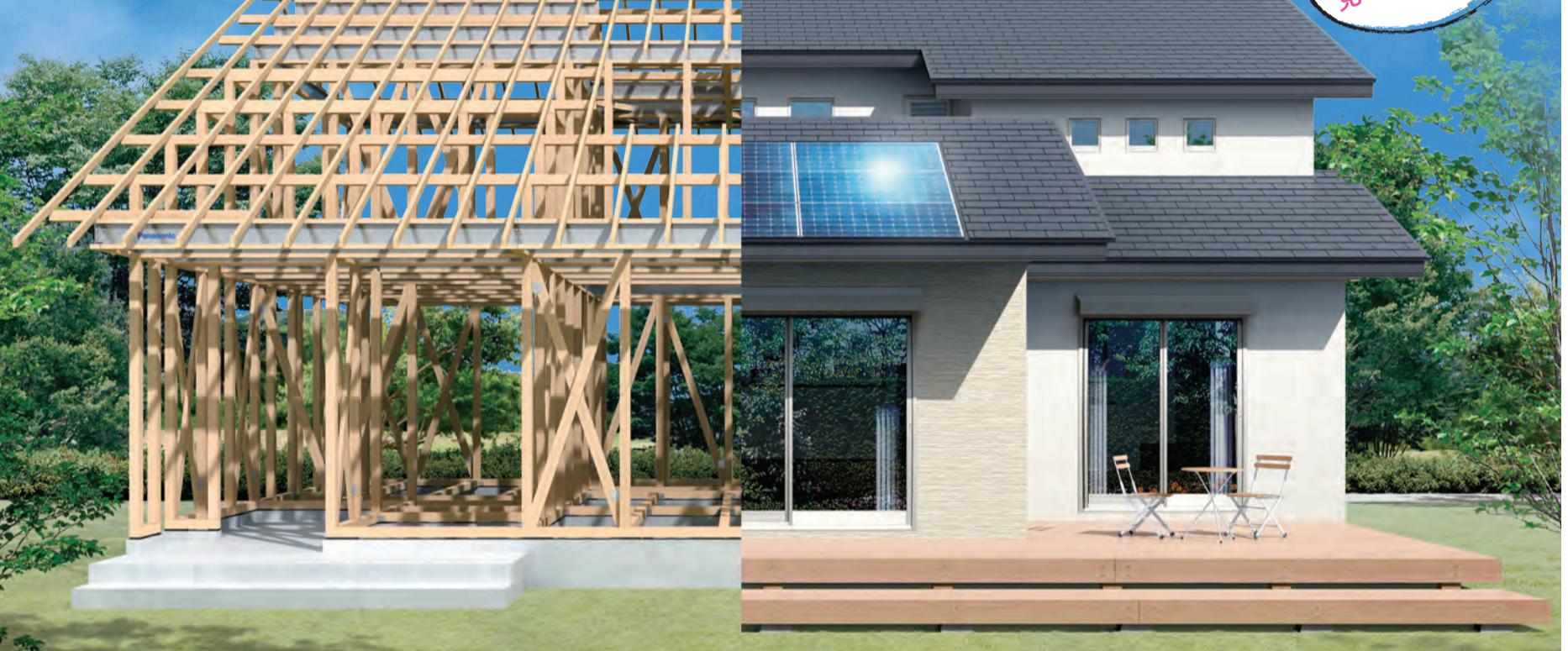
広々リビング、
大きな窓が欲しいなど
こだわりたいけど
耐震が心配

大地震が来ても
安全で安心して
住み続けられる
家が欲しい

冬は暖かく
夏は涼しい
省エネ住宅が
欲しい

耐震を
クリアしながらも
個性的なデザインの
建物を求める

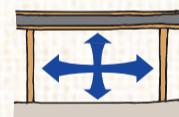
こんな方に
見ていただきたい



なるほどっ!!

広い家って…？なぜ広くできるの？

梁が強いから、ひろびろ空間が実現可能に！



壁も天井も
ひろびろ！

強い家って…？何が強いの？どれくらい強いの？

木の優しさと鉄の強さのハイブリット工法！
強さを検証する「構造計算」を行います。



木と鉄の複合梁
テクノビーム
これが強いのです

震度7の揺れを5回与える震度実験をクリア！
実験データを基に388項目の構造計算。



【見学会会場】
ファイネス城南町

Audi 岡崎

メルセデス
ベンツ岡崎

シャトレーゼ
岡崎上和田店

シャルドネ
岡崎

上和田 西

ガスト岡崎店

コメダ珈琲
岡崎上和田店

エルエル
タウン

上和田
東

上和田
西

上和田
北

上和田
南

ピアゴ
上和田店

地図アプリへ



ワンランク上の耐震工法 「パナソニック・テクノストラクチャー工法の家」 の秘密が見れる見学会のご案内

3月7日土 ▶ 4月5日日

AM10:00-PM5:00

安全を考慮して完全予約制と
させていただきます
ご予約はこちらから ▶▶▶



お客様へのお願い | モデルハウスご来場の際は、可能な限りマスクの着用をお願いいたします。

F.I.N.E.S.S

木+鉄で建てる、第三の工法。ワンランク上の耐震住宅テクノストラクチャー。

【家づくりの前に知っておきたい大切な3つのコト】 地震に強いテクノストラクチャーが解決

実は! 木の強度はタテ「強」・ヨコ「弱」

木は成長するタテ方向に繊維が伸びているため、タテから受ける力には強いのですが、ヨコから受ける力には弱いのです。

タテの力 **ヨコの力**

解決! 「木」+「鉄」=テクノビーム

梁の木と木の間に鉄を入れて強さを補強! それが“テクノビーム”の強さのヒミツです。

実は! 「構造計算」って必ずやっていると思いませんか?

家の骨組みバランスや強さを確認するのが「構造計算」。しかし法律上、実は2階建ての木の家は義務づけがありません。

一般的な木の家では
木の質もバラバラ
大工さんもバラバラ
でも… 法律では簡単的なチェックのみ

解決① 一棟一棟コンピューターで災害シミュレーション

地震や台風・積雪などの災害をコンピューター上でシミュレーション。
テクノストラクチャーでは一棟ごとに構造計算の保証書を作っています。

解決② 8カテゴリー、全388項目をチェック!

法律(建築基準法)に沿った通常の木の家を建てる時にはチェックされない多くの項目も、テクノストラクチャーではしっかりチェック!
※2階建以下の木造一戸建住宅の場合
※延べ床面積500m未満

必見!

**パナソニック耐震住宅工法
テクノストラクチャーって?!**

動画でわかりやすく説明します。

テクノストラクチャーの家が地震に強い理由
テクノストラクチャーの家が地震に強いのは、木造住宅業界では最高水準の構造計算を行っているから。構造計算について詳しく説いた動画です。

ロング&スマート
テクノストラクチャーの家

法律上は No Check!

QRコード

実は! 「基礎」も建物の重さで変形して壊れる!?

鉄筋とコンクリートで出来ていても場合によっては壊れることもあります。

解決! 建物が変われば基礎も見直す。

上に乗っかる建物の内容次第で、下の基礎にかかる力も変わってきます。

法律に沿って建てた一般的な木の家
一般的な基準に合わせて基礎を作るので屋根を変えても基礎はそのまま

例えば、金属系
軽い
瓦
重い
変更
テクノストラクチャー
一般的な木の家で屋根を変えると基礎を設計

ワンランク上の耐震住宅 自由設計でありながら耐震等級3+偏心率0.15以下を実現

構造計算 + 許容応力度設計 が標準装備

構造計算 もしもの災害をシミュレーション

独自の構造計算システムで、一棟一棟災害シミュレーションを行っています。住宅は建てた後で耐震診断をしても手遅れなため、設計段階で徹底的に構造計算を行います。

※許容応力度設計…木造住宅でありながら鉄骨や鉄筋コンクリート造と同様の構造計算で行う方法

偏心率って知っていますか?

偏心率とは建物の耐震バランスを数値化したものです。(数値が大きい程バランスが悪いということになります)。平成12年の建築基準法の改正により、木造住宅では偏心率0.3以下であることが規定されていますがテクノストラクチャーでは耐震性を高めるため偏心率0.15以下という厳しい基準を用いています。耐震等級が優れていても建物の偏心率が大きければ、本当に地震に強いとはいえないのです!

※重心とは建物の重さの中心。剛心とは建物の硬さの中心。

